特集 vol.11

deniime

deniime って？

2018 年に tamaki niime がつくったオリジナルデニム、

denim+niime=deniime。

世の中にデニムはいっぱいありますが、

他にはないデニム、

もっと履き心地の良いデニム、

一点もののデニム、

を目指したらこんなデニムになりました。

世の中にないデニム

労働着として生まれた一般的なデニムは、
丈夫でがっしりとしているのが特徴なのですが、
tamaki niime は履き心地を最優先し、
生地の組織開発からはじめました。
糸の飛びが多い組織にし、
緯(よこ)糸も少なくすることで
やわらかさを実現。

そして、
一般的には白や黒やインディゴであることが多い緯(よこ)糸を
tamaki niime らしいカラフルな緯(よこ)糸に。
インディゴの糸の間に
色糸がちらちらと見え、
オモテから見ても色が感じられます。
世の中の常識にとらわれない

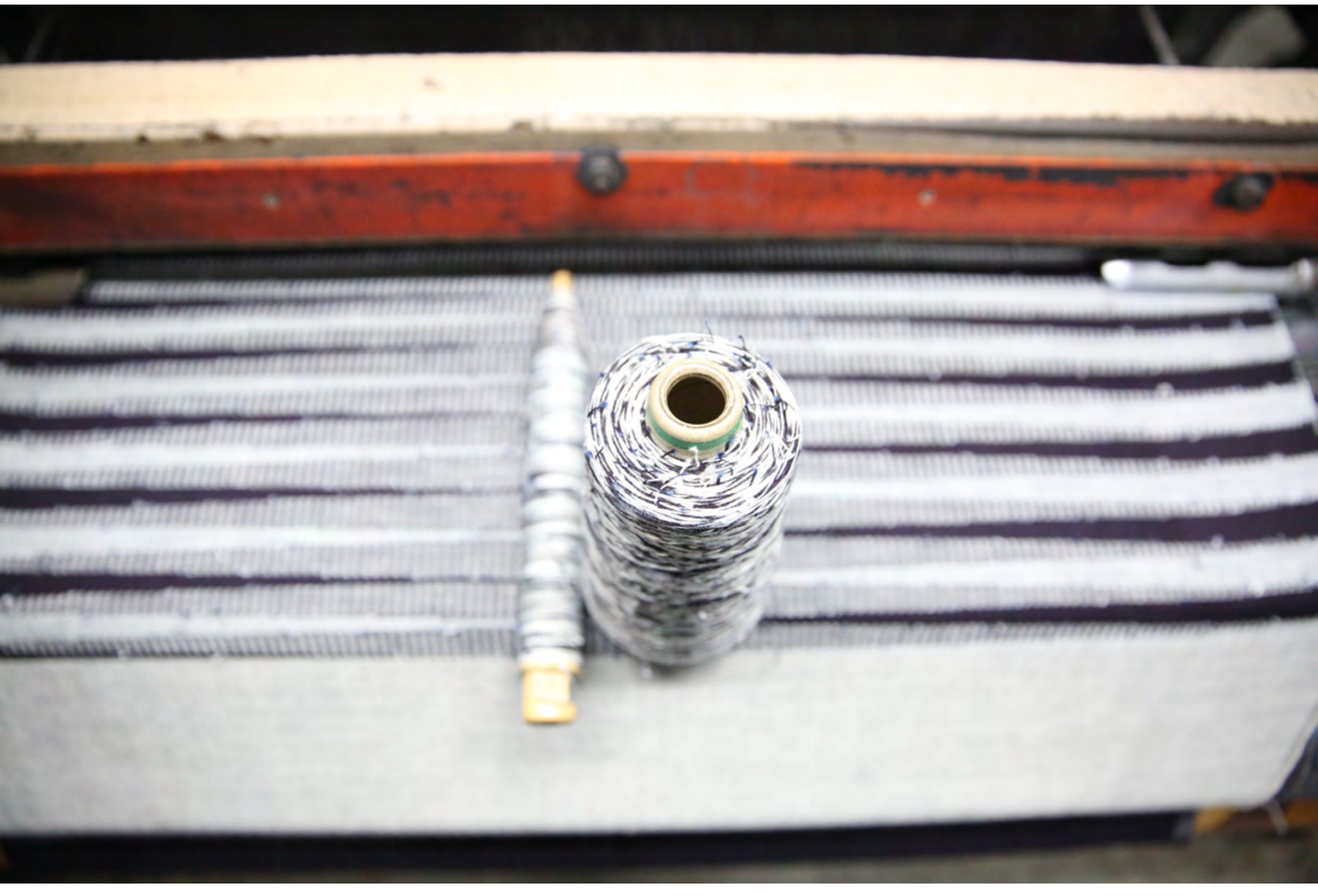
見たことがないデニムができました。

KING

deniime には種類があり、
特別なデニムは
QUEEN、KING という名前で区別しています。
QUEEN は、普通のデニムの色切り替えバージョン。
KING は、生地をイチから別に織っています。

KING は、昔ながらのシャトル織機で
ゆっくりと織っていきます。

年代物の機械なのでよく調子が悪くなるのですが、
絶好調に動いても、
１日に３着分の生地しか織ることができません。
ですが、風合いとやわらかさは
抜群な生地ができます。

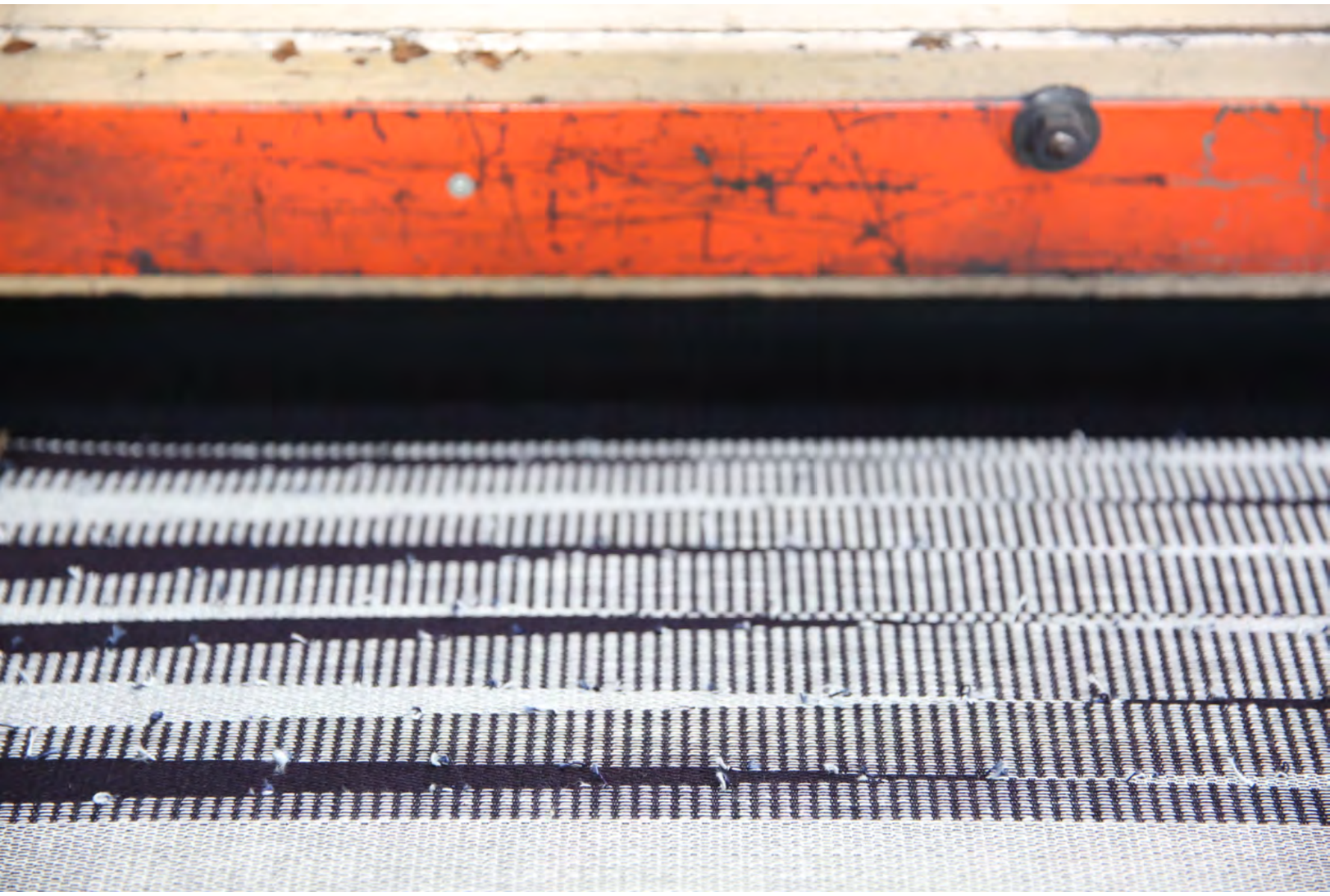


KING は、糸も KING 用につくっています。
アレンジワインダーと呼ばれる、

糸と糸をつなげる機械で糸をつくりますが、
工程がめんどくさすぎて、
こんな糸をデニムで使うことはないらしいです。
うまく稼動できて半日で３着分の糸ができあがります。

糸づくりと製織だけで１日半、
生地を洗いにかけて、

さらに縫製で１日近く……。

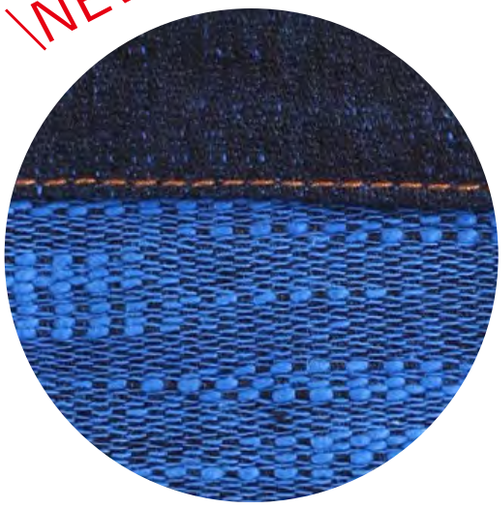


手間暇かけてつくられている KING ですが、
もちろん柄の出方としてもかわいく、
tamaki niime を象徴する
イッテンものの作品です。
こだわりのデニム、ぜひお試しくださいね！

組織

毎年変わる deniime の組織。
大体１年に２回ほど新しい組織が登場しています。
もう残り少なくなっているものもありますが、
今までの組織も、新しい組織も、
あわせて紹介します！

\NEW/



うね

ペンキを塗ったような

\NEW/

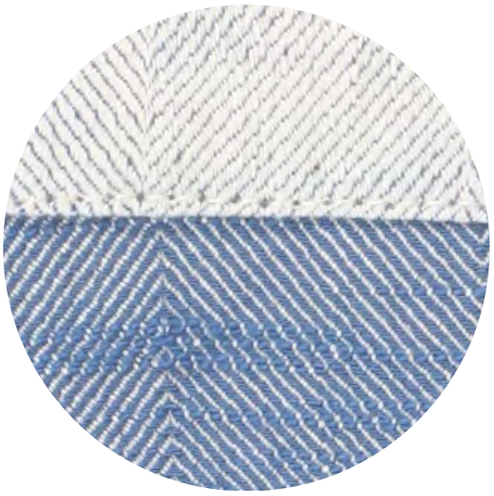
white うね

見た目の
ハリのある生地。

5/1 斜文織（しゃもんおり）

一番最初に登場した、
シンプルな織り方。

白い経糸（たて）の
うね。



white
5/1 斜文織（しゃもんおり）

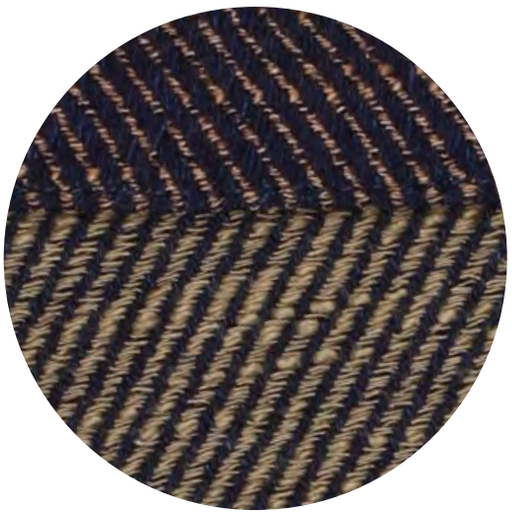
白い経糸（たて）の
5/1 斜文織（しゃもんおり）。

5/1.3/3 斜文織（しゃもんおり）

ハリがあり、
色がオモテに出やすい。

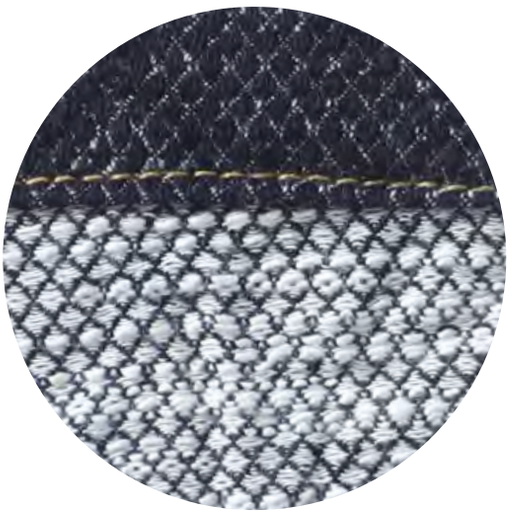
11/1 斜文織（しゃもんおり）

ボリュームがあり
履き心地抜群！



8/4 斜文織（しゃもんおり）

ボリューム感と
鮮やかさを両立！



ゴジ

ダイヤ柄で
固そうなのに
やわらかい。

種類

新たに、デニムコートのデロンコと、
丸ポケットが特徴の bottoms、マルポが出ます！
最近つくっていなかったデニモンも
ポケットがリニューアルされ、新色が登場！

Ⓦ ホワイトデニムあり　Ⓠ QUEEN あり　Ⓚ KING あり

\NEW/

デロンコ

デニーコより
ロングな襟付きコート。
使いやすい形です。

Ⓦ

\NEW/

マルポ

ポケットの大きい
ストレートワイドパンツ。
２月下旬発売予定！

Ⓦ

デニーコ

ノーカラーの
デニムコート。
大きいポケットつき。

W Q

zengo

一番最初にできた
裾に向かって細くなる
スタンダードな形。

W Q K

sakasama

ストレートに近い
ワイドな形。

360°

zengo のパターンを
はぎ合わせた

下向きポケットがポイント。

W Q K

どの角度でも履けるスカート。

W Q K

\RENEWAL/

デニモン

モンペをデニムで
つくりました。
両サイドポケット。

※ワンサイズ展開

Q

ハァピィ

一般的なデニムの形に近い
ストレートパンツ。
ウエストはゴム＋ひも。

W Q K